

授業科目 臨床化学 I

【担当教員名】 土屋 康雄		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：GI0】 各種疾患の診断や予後の判定などに必要な情報を提供するために、生体試料中に含まれる成分の測定方法や結果の解釈を理解し、生物化学的分析の理論と実際を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 臨床化学分析の目的と意義を簡単に説明できる。 2 精度管理の方法やその評価について説明できる。 3 臨床化学検査で使用されている分析方法を簡単に説明できる。 4 臨床化学検査における基本的な項目の分析方法を説明できる。 5 検査値の臨床的意義を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	臨床化学分析の特徴			1	講義
2	臨床化学分析における精度管理			2	講義
3	臨床化学分析の基礎と定量法			3	講義
4	糖質：グルコース			4-5	講義
5	糖質：グリコヘモグロビン他			4-5	講義
6	蛋白質：総蛋白、アルブミン			4-5	講義
7	蛋白質：血清膠質反応、血清蛋白分画他			4-5	講義
8	非蛋白性窒素：尿素窒素、クレアチニン			4-5	講義
9	非蛋白性窒素：尿酸、ビリルビン			4-5	講義
10	脂質：リポ蛋白			4-5	講義
11	脂質：コレステロール			4-5	講義
12	脂質：中性脂肪、リン脂質			4-5	講義
13	脂質：その他の脂質成分			4-5	講義
14	酵素：酵素の臨床的意義			4-5	講義
15	酵素：アミノトランスフェラーゼ			4-5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床化学検査学	浦山 修 他	医歯薬出版	2010・5,880円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験			【履修上の留意点】		